



Subaru

男声合唱団

ニュース№463

'14. 5. 12

9+hコンサート感想文 を投稿してもらいました。掲載します。

「昂」初めてのステージ（第9回コンサート）

BS 古谷敏郎

□初めて昂のステージに立たせていただきありがとうございました。「歌いまくる」という構成で、とても充実感がありました。来ていただいた方の感想を聞くと、同じく「あつというまの2時間」だったとのことでした。

ペーペーの私には、あまり曲数が多く、覚えるのに当日まで苦戦しました。最後はパートテープに頼りました。あれがなければ無理だったと思います。楽譜を持ってもよかったです、気合を入れるために、あえて持ちませんでした。

□来場者の感想（友人）

- ・男声合唱がこんなにイイと初めて知った。女声だけと迫力が違う。特にヴォルガ！
- ・『春なのに』よかった。涙がでた。
- ・『ゆらゆら春』『耐えているさ』でジーンときた。一度歌いたい。
- ・青と赤でコスチュームを着替えておしゃれで良かった。
- ・満員でびっくりした。「昂」ってファンが多いんやね。
- ・青の衣装の時、歌うたびにおなかが膨れたり凹んだりするのがおかしかった。腹筋使って歌っているんやね！おなかが出てる事もあるんかな。赤の時は目立たなかった。
- ・よう、あれだけ歌えたね！すごい。
- ・また、ぜひ来たい！次も案内してね。
- ・団長さんて若いんやね。（70歳やで）エ！ウソー、若く見えるわ。

(2014.4.20 記)

「和泉九条の会8周年のつどい」に出演しました

5月10日

□5月10日（土）、「和泉市コミュニティセンター」にて「和泉九条の会8周年のつどい」があり、昂はオープニング出演しました。本並先生の指揮、森さんのピアノで「天の火」を皮切りに、「降りつむ」、「街を返せ」、「死んだ男の残したものは」、「ゆらゆら春」、「川の流れのように」と熱演し、アンコール曲の80余



名の客席の手拍子入りの「歓びのナーダム」は大拍手のエンディングとなりました。例の如く客席を巻き込む、親しみのある石橋さんの司会はアドリブも軽妙に入って、最近、芸の域に達した感があります。参加は全24名でした。